

豊島区議会第3回定例会で公明党区議団は、放射線対策や防災、障がい者支援策などについて質問しました。

また、決算特別委員会では、平成22年度予算の執行効果やワクチン接種事業などの今後の施策についてさまざまな提案を行いました。



平成23年 第3回定例会で論戦

放射線、防災対策の充実を!

子どもを
脅威、
から守る

学校、公園、給食食材の 放射線量調査を実施

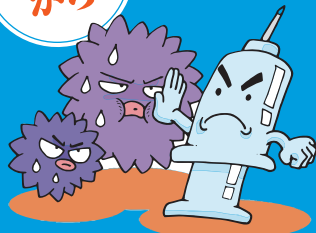
豊島区では6月より独自の放射線量調査を開始しましたが、公明党区議団の要望を受けて、全ての小・中学校、保育所、幼稚園、主要な公園の大気中とプールの水、土壌、砂場の調査を実施しました。10月26日からは区内の公園全158か所での空間線量調査も開始され、全て基準値を下回りました。

保護者からの心配が大きかった給食の食材と牛乳についても10月から、専門機関による放射性物質濃度検査が実施され、給食の安全・安心が確保されています。



24年度
から

水痘・おたふく予防接種助成が実現



©NEW KOMETTO

公明党区議団が予算特別委員会で強く主張してきた、水痘・おたふく風邪の予防接種への公費助成について豊島区は「24年度に実施したい」との意向を表明。

また、現在実施されている子宮頸がん・小児肺炎球菌・ヒブワクチンの公費助成は、国からの補助金が今年度で終了の予定。公明党は国からの補助がなくなっても豊島区独自で予防接種助成事業の継続を図るべきだと主張しました。豊島区は国の補助がなくなっても、独自の助成事業を行い負担軽減を図ると確約しました。

サイドストーリー Side Story

10月
から

区民の声を実現!
移動支援サービスが
使いやすく

公明党区議団の主張によって、知的障がい者にヘルパーが同行する「移動支援サービス」の利用がプールや銭湯でも可能となった。

ことの発端は、「移動支援事業の使い勝手が悪く、困っている」との相談。使いやすい制度にと、公明党区議団は区と粘り強く交渉を重ね、10月1日から認められた。

さらに、出先からの寄り道では利用できなかった不便さも解消され、利用者から喜ばれている。

公明党区議団8人は今日も区民の声に耳を傾ける。

「使いやすい制度に」

